

編集後記

図書館の業務委託を行っている会社の人と話す機会があった。その会社はただ司書資格を持っていたり、図書館での勤務経験がある人間を現場へ送り込むのではなく、自前でスタッフの研修や教育に力を入れている。どのような研修をしているのかは知らないが、現場と直結した教育・研修制度を持ち、図書館員をたくさん抱えて、育成していくというやり方は、図書館員の育成システムとして可能性がありそうである。現在協議会などで一般に行われている研修会は、積み重ねることで図書館員の血肉となることは疑いないが、レベルや方向性、計画性の点でとてもまとまっているとはいえない。その会社の研修が必要のない現役図書館員がどれほどいるか、はなはだ心もとない。こういった訓練を受けた人たちが活躍して、図書館員の評判を上げてくれるのなら、それは歓迎したい。ただ、問題はその後である。今すでに図書館正職員はマネージャーとなり、本来図書館司書がすべき仕事がかつどんどんアウトソーシングされる傾向にあるが、この人たちが力をつけることでいずれ正職員となり、図書館員として一生をまっとうできる道が想定されているのだろうか？このような人たちが多数を占め、かつ満足な待遇を得られないまま終わるのであれば、図書館員という職業に未来はない。しかしその待遇の低さ、地位の不安定さこそ、現在の図書館員の赤裸々な市場評価ともいえる。資料の貸出率などは飛躍的に向上し、資料の提供という意義についてはそれなりに結果を出してきたが、結局図書館員が他と代えがたい存在だと社会的認知を得ることに成功したとはいえない。現在とりわけ正職員として図書館で勤務している者は、一人ひとりが本当に図書館員の地位向上のために奮闘努力しなければならない。

(増田 徹)

会誌編集部員

部	長	井 上 智奈美 (三菱京都病院)
部	員	寺 澤 裕 子 (関西労災病院)
		前 垣 志 穂 (公立八鹿病院)
		増 田 徹 (藍野大学)
		松 尾 知 香 (石切生喜病院)

病院図書館 第31巻 第2号

季刊

2012年7月31日 発行

定 価 ￥1,500 (年間購読料 ￥6,000) 送料込

発行所 近畿病院図書室協議会

〒567-0018 大阪府茨木市太田 3-9-25 藍野大学中央図書館 気付

TEL (072) 625-6369 FAX (072) 627-3355

印刷所 明文舎印刷株式会社

〒601-8316 京都市南区吉祥院池ノ内町 10

TEL (075) 681-2741 FAX (075) 681-2742